**パンデミックと日本共産党の真価——党創立９９周年記念講演**

**日本共産党幹部会委員長　志位　和夫**

**パンデミックは、政党の危機に対する姿勢と能力を問うものとなった**

**第一。科学的姿勢に立ち、国民の苦難軽減に献身する党**

**・安倍・菅政権のコロナ対応の〝３つの致命的欠陥〟と東京五輪の強行**

**・日本共産党の奮闘と、パンデミックのもとでの前向きの希望ある変化**

**命と暮らしを守る積極的提言、五輪パラ中止の提起の先駆的意義**

**国民の運動と共同し、さまざまな分野で前向きの希望ある変化が**

**全国の草の根で、国民の「ＳＯＳ」に耳を傾け、ともに解決するとりくみ**

**第二。日本の政治の歪みの根本にメスを入れる変革の党**

**・新自由主義はもう終わりにしよう――「ルールある経済社会」が抜本的対案**

**新自由主義の破たんは、もはや誰の目からみても明らかになった**

**財界言いなりに、ボロボロになった道を暴走する菅政権に、国民の厳しい審判を**

**財界との腐れ縁が一切ない日本共産党をのばすことこそ、暮らしを良くする力**

**新自由主義からの転換の動き――アメリカから伝えられた二つの発言**

**・「異常なアメリカ言いなり」をただす――「二重のとりくみ」をすすめる党**

**米軍機による低空飛行の被害が激増――日本の空の主権をとりもどそう**

**辺野古新基地はつくれない――「オール沖縄」への連帯を訴える**

**「アメリカ言いなり」をどうやってただすか――「二重のとりくみ」に力つくす**

**第三。世界の本流に働きかけ、逆流とたたかう党**

**・本流の力強い前進――核兵器禁止条約の発効、植民地主義の過去を問う世界の流れ**

**核兵器禁止条約の発効――「ある種の革命」が起こった**

**植民地支配の過去を問う世界的流れの発展――日本政府の態度が問われている**

**・米中の覇権争い――国際社会はどう対応するべきか**

**もっとも抑制すべき道****――軍事対軍事の対立と、軍拡競争の悪循環**

**もっとも推進すべき道――国際法という共通のルールにもとづく平和的共存**

**中国に対してどう向き合うか――排他的でなく、包括的アプローチを**

**第四。選挙で示された国民多数の意思にもとづき、国民共同の力で社会変革を進める党**

**・段階的発展、多数者革命、統一戦線――現在から未来にいたる一貫した立場**

**・市民と野党の共闘の画期的意義――反共攻撃による分断を打ち破ろう**

**市民と野党の共闘――党の歴史のうえでもかつてない画期的な取り組み**

**どんな場合でも平和的・合法的に社会変革を進める――日本共産党の確固たる立場**

**第五。資本主義をのりこえる未来社会をめざす党**

**・米国の高校生から寄せられた社会主義と日本共産党への共感のメール**

**・『資本論』の革命的真髄と、日本共産党の歴史的役割――新版完結によせて**

**新版『資本論』の完結――１００周年を迎えるにふさわしい記念碑的な仕事に**

**「肯定的理解」「必然的没落の理解」――資本主義の生成、発展、没落の法則を明らかに**

**・「人間の自由」「人間の解放」――日本共産党という党名はこの理想と結びついている**

**新しい政治変革のうねりのなかで党創立１００周年を迎えよう**